

『小学校英語教育学会誌』(JES Journal) 執筆要領

『小学校英語教育学会誌』(JES Journal) は、小学校英語教育学会の発行する査読付き研究誌である。本研究誌は、小学校の英語教育に関する研究及び実践に関して、実証的、実践的または、理論的に優れた発表を掲載する。

1. 投稿の条件及び諸注意

(1) 2020年度の全国大会で発表されたもので、1人1編(共同研究も含む)とし、執筆者は、研究論文か実践論文かを申告すること。論文カテゴリーを決定する際、以下を参照すること。

【研究論文】

関連する先行研究を踏まえて、新たな視点・解釈を提供し、適切かつ妥当な研究方法により、英語教育の学術研究・授業実践の発展に寄与する研究成果を十分な論拠・証拠をもって導き出しているものとする。

【実践論文】

関連する先行実践例や先行研究を踏まえて、授業改善に有効であると考えられる方法を実践し、その内容と結果を適切に記述することで、授業改善や実践的研究の発展に寄与する情報を提示しているものとする。

- (2) 2019年度投稿して不採用となった原稿は2020年度に限り再投稿することが可能である。
- (3) 投稿論文は、学会Webサイト(「JES各委員会ページ」の「学会誌編集委員会」のページ)上のテンプレートを使用するとともに、所定の執筆要領に従って作成すること。テンプレートを使用していないものや、執筆要領に違反するものは、審査対象にならない。
- (4) 英文原稿及び英文題目は英語母語話者または同等の英語力を有する者によるチェックを投稿前に受けておくこと。
- (5) 統計処理を用いた論文は必要に応じて統計の専門家のチェックを投稿前に受けておくこと。
- (6) カラーの使用は認めない。

2. 使用言語

使用言語は日本語または英語とする。

3. 投稿原稿の提出方法

投稿原稿は、学会Webサイトに掲載されているテンプレートを用いて作成し、WordとPDFの両方を提出する。ファイル名は、半角小文字で発表(代表)者の名字と名前を使用し、「投稿者名(事務局保管用)」「投稿者名(査読用)」とすること。例えば、「紀要花子」の場合、「kiyohanako(事務局保管用)」「kiyohanako(査読用)」となる。

投稿原稿の提出は、学会Webサイト(「JES各委員会ページ」の「学会誌編集委員会」のページ)上の学会誌投稿フォーム(小学校英語教育学会学会誌投稿フォームおよびJESジャーナルスタイルチェック)に必要事項を記入し、所定の欄に投稿原稿をアップロードして送信すること。

投稿に関する問合せは、下記メールアドレスへ送ること。なお、下記メールアドレスへ投稿しても受理されないので注意をすること。

(問い合わせ先) jesjournal21@gmail.com

「事務局保管用」は完全原稿のファイルとし、「査読用」は執筆者を特定することが可能と思われる、以下の全ての記述をXXXと表示させ、特定できないようにする。

- ・執筆者の氏名、所属機関名

- 本文中の執筆者の氏名が含まれる文献の情報 (例) 太平 (2000) → XXX (XXX)
- 注や謝辞等において執筆者を特定することが可能と思われる記述及び科学研究費補助金等による研究への言及に関する情報
- 引用文献に執筆者の氏名が含まれているものがある場合は、その文献情報を削除し、リストの最後尾に置く
(例) 太平 (2000) 『小学校英語』AZ書店 → XXX (XXX) [文献リストの最後尾に置く]

4. 原稿提出の期間

提出期間は、日本時間で 2020年10月19日(月) 0時0分0秒～2020年10月23日(金) 23時59分59秒 までとする。

5. 原稿受領確認手続き及びPCウイルス対策のお願い

学会誌投稿フォームで送信した後、受領メールが自動的に投稿者および共著者全員に返信される。3日経っても受領メールが届かない場合は、すみやかに学会誌編集委員会事務局にメールで問い合わせること。投稿の事実が確認できる証明(上述の自動的に返信される受領メール)が締め切り後1週間以内に提出された場合、原稿を受領する。

6. 論文の構成

論文の構成は、(1)論文題目、(2)執筆者氏名、(3)所属機関名、(4)キーワード、(5)要旨、(6)本文 [(a) 目的、(b) 方法、(c) 結果及び考察]、(7)注、(8)謝辞、(9)引用文献の順番とする。ただし、(7)及び(8)は必要に応じて記載するもので、必須ではない。具体的には、以下を参照のこと。

- (1) **論文題目**：英文原稿の場合は英文題目のみ、和文原稿の場合には和文題目とその英訳を書くこと。
- (2) **執筆者氏名**：英文原稿の場合は、姓・名の順とする。和文原稿の場合は、和文表記にヘボン式ローマ字による表記を添え、その表記法は英文原稿の場合と同じとする。執筆者が複数の場合、1行毎に1名の執筆者(次の行に所属機関)を書く。
- (3) **所属機関名**：和文原稿の場合は、その機関名の英訳を添える。そして、機関名の後に、非常勤の場合は(非常勤講師)、学生の場合は(学生)、大学院生の場合は(院生。なお現職教員の大学院生の場合は、上の要領で所属機関名と院生の両方を併記)を書く。英文原稿の場合も同様に、所属機関名と該当するもの [(Part-time Teacher), (Undergraduate Student), (Graduate Student)] を書く。
- (4) **キーワード**：3語とし、和文原稿の場合は日本語と英語のどちらでも可とし、英文原稿の場合は英語のみ可とする。
- (5) **要旨**：要旨の長さは10～15行とする。和文の場合は日本語で、英文の場合は英語で記す。
- (6) **本文**：要旨の後1行空けてから本文を書き始めること。和文原稿の場合、句読点、カギカッコ(「」)等は1文字に数える。各セクションの見出しは太文字を使い、センタリングするとともに、前後に1行の空白を設けること。セクション内の小見出しも太文字とするが、左寄せし、後に1行の空白は設けない。

7. 原稿の書式(学会誌編集委員会指定のテンプレートで設定済み)

(1) 原稿の総ページ数

原稿の総ページ数は、本文、注、謝辞、引用文献、図、表等を含めて 6ページ以上、16ページ以内とする。図や表等は原稿内にレイアウトすること。

(2) 用紙サイズ及び行数と1行の文字数

用紙 A4判、縦置き、横書き、45字(英文の場合は半角90字)×38行

余白 上25mm、下25mm、左25mm、右25mm

以上は、本文だけでなく、注と引用文献にも適用される。ただし、図表、グラフ、付録については、行間等を適宜調整してもよい。

<注> 学会誌のサイズはB5判であり、原稿は写真印刷にて縮小される。

(3) ページ番号

論文原稿にはページ番号をつけないこと。

(4) 本文等のフォントとサイズ

本文、注、謝辞、引用文献に使用するフォントとサイズについては、和文原稿の場合はMS明朝で10.5ポイント（数字と英語はTimes New Romanで10.5ポイント）とし、英文原稿の場合はTimes New Roman で12ポイントとする。行スペースについては、和文・英文いずれの原稿も11ポイントとする。ただし、図表、グラフ、付録については、英文も和文も、サイズを10ポイントまで下げることができる。**（学会誌のサイズはB5判であり、最終的に原稿が縮小される）**ので、その際に図表、グラフ、文字、数字が小さくなりすぎないように注意すること。）

本文、注、謝辞、引用文献は両端揃え（ジャスティフィケーション）をすること。

(5) 論文題目等のフォントとサイズ

[和文原稿の場合]

- ・論文題目：MS明朝・18ポイント・中央揃え
- ・論文題目英訳：Times New Roman・18ポイント・中央揃え
- ・執筆者氏名：MS明朝・14ポイント・中央揃え
- ・所属機関名：MS明朝・14ポイント・中央揃え
- ・執筆者氏名ローマ字：Times New Roman・14ポイント・中央揃え
- ・所属機関名英訳：Times New Roman・14ポイント・イタリック体・中央揃え
- ・キーワード：日本語はMS明朝、英語はTimes New Roman・12ポイント・中央揃え
- ・要旨見出し：MSゴシック・12ポイント・**ボールド体**・中央揃え
- ・本文セクション見出し（番号は半角）：MSゴシック・12ポイント・**ボールド体**・中央揃え
（例：1. はじめに, 2. 先行研究）
- ・本文小見出し（番号は半角）：MSゴシック・12ポイント・**ボールド体**・左揃え
（例：3.1 参加者）
- ・句読点：全角の「,」「。」を用いる。

[英文原稿の場合]

- ・論文題目：Times New Roman・18ポイント・中央揃え
- ・執筆者氏名：Times New Roman・14ポイント・中央揃え
- ・所属機関名：Times New Roman・14ポイント・イタリック体・中央揃え
- ・キーワード：Times New Roman・14ポイント・中央揃え
- ・要旨見出し（Abstract）：Times New Roman・12ポイント・**ボールド体**・中央揃え
- ・本文セクション見出し：Times New Roman・12ポイント・**ボールド体**・中央揃え
（例：1. Introduction, 2. Method）
- ・本文小見出し：Times New Roman・12ポイント・**ボールド体**・左揃え（例：2.1 Participants）

(6) 引用文献の書式

文献は、本文中に記載された「引用文献」である。順序は、和書と洋書の文献を混ぜて、アルファベット順に書く。下記（例は全て架空）を参照。

(ア) 紀要等の論文集の場合：

磐梯二郎 (1980). 「発達段階に応じた英語指導法」『英語教授法』第2号, 211-219.

(イ) 単行本の場合：

磐梯二郎 (監修) (1958). 『英語の歴史』 東南書店.

(ウ) 単行本の中の論文の場合：

白河明士 (2003). 「第2章3節 4技能の統合的教授法」山城護郎・筑波太郎・平泉一吉 (編) 『21世紀の英語教育研究』 (pp. 101-126) 太平洋書店.

(エ) 雑誌論文の場合：

長野三郎 (1997). 「Native Speaker の研究」『20世紀の英語教育』8月号, 1-13. 武山書店.

(オ) 著者が複数いる場合：

琵琶真一・青森明彦・Stephen, D. H. (1986). 「英語でコミュニケーションをする生徒の特徴」『猪苗短期大学紀要』第1号, 27-46.

(カ) 同じ著者の文献が連続する場合：

黒木賞三郎 (1996). 『英語評価論の変遷』 大名書店.

黒木賞三郎 (2008). 『英語学習者の動機づけに関する研究』 開運堂書房.

(キ) 文部科学省 (文科省) 関係書籍の場合：

文部科学省 (1999). 『効果的英語コミュニケーションを目指した指導と評価』 (中学校
外国語指導資料) 開運堂書房.

(ク) 洋書の文献の場合：

Publication Manual of the American Psychological Association (American
Psychological Association) の第7版に準拠すること。

(ケ) 単行本の場合：(本のタイトルはイタリックにする)

Carter, R., & McCarthy, M. (1988). *Vocabulary teaching*. Wiseman.

(コ) 雑誌論文の場合：(雑誌名はイタリックにする)

King, J. A. (1996). The role of episodic memory. *SELE Quarterly*, 22, 17-39.

(サ) [英文原稿]での注意：(和文図書は書名をへボン式ローマ字で記載し、英訳をつける。)

Kusatsu, S. (2000). *Nihon no rekishi* [Japanese history]. Shinzanshoten.

8. 投稿論文の査読における観点項目と内容

投稿論文は、それぞれ以下の観点項目と内容に基づき査読が行われる。

【研究論文】

1. 独創性：関連する先行研究を踏まえながら新しい視点や解釈を提示し、研究に適切な意義づけを行っているか。
2. 研究内容：研究の方法は明確に記述・解説されるとともに適切かつ妥当であり、なおかつ、研究結果について十分な論拠・証拠を開示しているか。
3. 論理性・表現：論旨に一貫性があり、表現が適切であるか。
4. 意義・貢献：研究成果が小学校における学術研究・授業実践にとって意義があり、小学校英語教育の発展に寄与する可能性があるか。
5. 全体評価：研究論文として全体的な完成度が高いか。

【実践論文】

1. 独創性：関連する先行実践を踏まえながら新しい実践を行い、その実践に適切な意義づけを行っているか。
2. 実践内容：実践の内容は明確に記述・解説されるとともに適切かつ妥当であり、なおかつ、実践結果について具体的根拠に基づいて的確な考察・省察を行っているか。
3. 論理性・表現：論旨に一貫性があり、表現が適切であるか。
4. 意義・貢献：実践成果が小学校における授業実践・実践的研究にとって意義があり、小学校英語教育の発展に寄与する可能性があるか。
5. 全体評価：実践論文として全体的な完成度が高いか。

9. 投稿原稿の査読結果及び取り扱い

投稿原稿の査読 (1次審査) 結果 (「採用」「採用候補」「不採用」のいずれか) は、編集委員会の議を経て、2020年12月10日までに投稿者 (代表者) に通知される。なお、結果に関する質問は一切受け付けない。そして、「採用候補」原稿に対する最終的な査読 (2次審査) 結果 (「採用」あるいは「不採用」) は、編集委員会の議を経て、2021年2月15日までに投稿者 (代表者) に通知される。なお、結果に関する問い合わせは一切受け付けない。また、原稿のファイルは返却しない。

10. 採用原稿の校正及び取り扱い

(1) 校正は初校のみ執筆者が行う。また、書式等を編集委員会が変更することがある。

(2) 本研究誌に掲載された投稿原稿を無断で複製あるいは転載することを禁じる。著作権は小学校英語教育学会 (JES) に属し、複製あるいは転載する場合には文書による承諾を受け

ることとする。

11. 学術文献データベースへの登録

掲載されたすべての研究論文・実践論文は刊行 1 年後を目処に電子化して学術文献データベースに登録することとする。なお、これまでは CiNii (Citation Information by NII) に登録していたが、今年度末の同データベース閉鎖に伴い、次号よりは国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) が運営する「科学技術情報発信・流通総合システム」(J-STAGE)に登録を移行する予定である。

12. 原稿のテンプレートの使用およびサンプルの確認

執筆に際し、学会誌編集委員会指定のテンプレートを使用するとともに、JES ホームページに掲載のサンプル (Word ファイル) を確認すること。

13. 投稿にあたっての倫理的指針

- (1) 研究及び投稿にあたっては、研究・調査に参加したり、協力したりする者 (以下、「調査協力者」という) の立場に配慮し、調査協力者が不利益を被ることがないように配慮しなければならない。
- (2) 実験や調査を伴う研究を実施する場合には、研究や調査へ参加・協力について、調査協力者あるいはそれを保護する立場にある者の同意を得るものとする。
- (3) 収集したデータの取扱いについては、個人のプライバシーを侵害することがないように厳格に管理する。